

マレーシア

インドネシアで日系企業対象のセミナー開催

マレーシアは、7月28日、インドネシアの首都ジャカルタでセミナーを開催した。鳥インフルエ...

の支援サービスを説明した。主催は、同社のジャパン・クライアント・サービス(JCS)で、日系企業の海外現地法人をターゲットに保険とリスクマネジメントサービ...

同社JCSは、東京に本社を置く。アジア、欧米の3極体制をとり、世界各国に約300人の...

アジア地域では、日本を含む13カ国に拠点を設け、インドネシア、中...

生プランの改善について説明した。小林氏は、取引信用保...

鳥インフルエンザ対策については、日本企業も日本人の海外駐在員に帰...

インドネシアの感染死者数は世界最多で、100人以上が死亡しているが、同国では、コレラやマラリアなどの感染症が身近に心配される病気が確保できるか、また、...

高野氏は、地震リスクについて、インドネシア国内の地震保険がプールの仕組みになっていることを説明し、専門家による地震リスクの定量化サービスを活用して予想最大損害額を算定し、それを基に、企業が最適な実損てん補限度額を設定して保険契約することに...

パンデミックに備えたBCPや取引信用保険など提案



小林氏



高野氏

法人が抱える特有のリスクを回避軽減させるための保険設計やリスクマネジメント(RM)を行っている。主要都市には日本、または、日本語対応可能なスタッフを駐在させている。

者の小林修一シニアバイスプレジデントが、取引信用保険と鳥インフルエ...

について、保険会社の設定する与信限度額を利用することで、内部統制の強化につながる。取引で保証金や土地担保制...

えらる必要があると話し、パンデミックのリスクには、人命と、欠勤によるビジネスの中断があること述べ、衛生管理や感染状況の監視と正確な情報伝達の徹底、事務所閉鎖のタイミニングや復旧の...

高野氏は、地震リスクについて、インドネシア国内の地震保険がプールの仕組みになっていることを説明し、専門家による地震リスクの定量化サービスを活用して予想最大損害額を算定し、それを基に、企業が最適な実損てん補限度額を設定して保険契約することに...

より、合理的な保険料削減が可能と提案した。福利厚生制度については、同国の労働者社会保険制度の補償給付プランの概要を説明し、同補償給付プランに対する経営者の一般認識と標準的な対応を紹介した。標準的な対応として、公的な補償給付プランを補完する目的で企業が自発的に付加給付プランを策定していることを説明し、従業員が1000人以上と200人から1000人の企業の標準的な付加給付内容を例示。福利厚生プランの重要性を指摘した上で、同社のサービスを活用することで、業務の簡素化とコスト軽減が可能だと説明した。